横浜天声キリスト教会　週報　第15巻21号(No.537)　2020年5月24日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　コロサイ3:16 ・・・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　305番　春風そよふくごと
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・　1番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　179番　良き知らせを
礼拝のための祈り　・・・・・・・成田エクレシア:河執事　天声:小林 伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　427番　日ごとよろこび
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・ 力を着せられるまで、都にとどまっていなさい(ルカ24:49-53)
御言葉を適用する祈り　・・　会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　409番　渇(かわ)きあえぐわが魂は
献金感謝の祈り　・・・・・・・・　パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・ 会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

見よ、わたしの父が約束されたものを、____に贈る。だから、上から力を授けられるまでは、____は都にとどまっていなさい」。それから、イエスは…手をあげて____を祝福された。祝福しておられるうちに、____を離れて、〔天にあげられた。〕____は〔イエスを拝し、〕非常な喜びをもってエルサレムに帰り、絶えず宮にいて、神をほめたたえていた。(ルカ24:49−53)

キリストの平和が、____の心を支配するようにしなさい。____が召されて一体となったのは、このためでもある。いつも感謝していなさい。キリストの言葉を、____のうちに豊かに宿らせなさい。そして、知恵をつくして互に教えまた訓戒し、詩とさんびと霊の歌とによって、感謝して心から神をほめたたえなさい。そして、____のすることはすべて、言葉によるとわざによるとを問わず、いっさい主イエスの名によってなし、彼によって父なる神に感謝しなさい。(コロサイ3:15−17)

悪しき者のはかりごとに歩まず、罪びとの道に立たず、あざける者の座にすわらぬ____はさいわいである。このような____は主のおきてをよろこび、昼も夜もそのおきてを思う。このような____は流れのほとりに植えられた木の、時が来ると実を結び、その葉もしぼまないように、そのなすところは皆栄える。(詩篇1:1−3)

メッセージ概要

次週は聖霊降誕日である。聖霊が来ると主の力強い証人となり、罪について、義について、さばきについて、世にその過ちを認めさせるようになる。また、人や物事に対する識別力が与えられ、言葉や人間関係でつまづいたり、失敗したりしなくなっていく。五旬節をもうじき迎える今、私達はいかに備えたら良いか。

『*見よ、わたしの父が約束されたものを、あなた方に贈る。だから、上から力を授けられるまでは、あなた方は「都(ポリス:城壁がある大きな町)」に留まっていなさい。*』(ルカ24:49)　主は、「力を着せられるまで留まりなさい」と言われた。だからそれまで、勝手にあれこれするべきではない。しかし聖霊が与えられる時、内から込み上がってくる聖なる衝動に突き動かされ、聖なる行いをし、聖霊が語らせてくださるままを語る。聖霊が働く時、失敗は無いが、聖霊抜きに、自分で編み出した力で神の国を立てあげようとすると、必ず失敗する。サラは、約束の子が与えられるのを待ちきれず、ハガルを通して苦い根を残し(創世記16章)、サウルは、サムエルが来るのを待ち切れず儀式を行い、王国が立つ事を逃してしまった(1サムエル13章)。

初代教会の聖徒達は、力を着せられるまで待ったが、その間、エルサレムに留まって何をしていたか。彼らは、非常な喜びをいただき、**いつも神を褒め称え(テヒラー תהלה)**て(49-53節)、また**共に心を合わせて祈り(テフィラー תפלה)に専念**していた(使徒1:13)。これは聖霊を待ち望む私達もするべき事である。

私達も、聖徒の交わりという城壁の町の中に留まり、共に賛美し、祈り続けるのだ。祈り(テフィラー)は本来、主の御言葉を暗唱する事で、それを反復すると「テフィリン תפלין」となる。そうして御言葉を思い巡らし続けていると、やがて、非常な喜びが沸き起こり、それにメロディがついて賛美(テヒラー)となる。

マリヤのように、主の言葉を繰り返し思い巡らしていると、矢のように飛んで来て刺さるような言葉が現れ、また、感動し涙する言葉、心から離れない言葉が現れ、大いにアーメンし、賛美したくなる。この人知を超えた経験をするのは、神の言葉は霊であり、生きており、その霊が、私達の霊と共鳴するからだ。

こうして賛美、祈り、テフィリンを繰り返して行くと、その感動と喜びが、確信となり、アーメンとなり、それが貯まりに溜まってデュナミス(力)となり、それが見える世界で**実体化**し、力強く神をあかしするようになる。

だから、御言葉を昼も夜も口ずさめば口ずさむほど、その言葉の高さ、広さ、深さを理解し、知恵と啓示の霊で満ち溢れる。そして、目の前にある人が来た時、または何かの事象が起きた時、それまで思い巡らして来た、エネルギーを帯びた言葉に、主がエンジンをかけて下さり、主のタイミングにより溜まっていた聖なるエネルギーがほとばしり出て、目の前の人、モノ、状況に対して、主の御業が”ばんっ”と遂行される。

言葉には、3種類ある。思いの中の言葉と、態度という言葉と、口から出て人に聞かせる言葉であるが、思いの中の言葉が、一番大事である。人は、言葉を蓄えた器のようで、その器の中に蓄えて来た言葉を源とした言葉が、思いの中に、電光掲示板のごとく流れ、そうして思い巡らしている言葉が顔の筋肉を動かし、表情に現れ、または態度に現れ、それが定着して、顔立ちや言動パターンが、そして人生が出来上がる。悪い言葉を蓄えて思い巡らしているなら、人相が悪くなり、健全な言葉を蓄えているなら、顔立ちが良くなる。せっかくエステに通っていても、もし内に蓄えている言葉が悪いなら、人相の悪さは治りようが無い。

良くない言葉を内に溜めていると、良くない事を引き寄せ、嫌な思いをするので、内なる言葉を入れ替える必要がある。良くない言葉は、健全で積極的な「主の言葉」によって打ち消す以外には無い。

もし主の言葉を思い巡らし、豊かに蓄え、その健全な言葉を豊かに自分に染み込ませているなら、その人の平安と健全さは、決して状況や気分によって左右されないし、一発屋的に終わるのでもない。
御言葉を思い巡らし、反復して宣言し、霊に染み込んだ御言葉には、腹の奥底からの確信があるからだ。

今、コロナの危険がある現代、私達は悪者のはかりごとに歩んだり、罪人の道に立ったり、あざける者の座に着いてはならない。主の守りの保証から外れてはならない。むしろ聖徒の交わりの城壁の内にこもり、主の教えを喜びとし、昼も夜もその教えを口ずさむべきだ。そうすれば、時が来れば実がなり、その葉は枯れず、何をしても栄える保証が得られる(詩篇1篇)。この時代、留まるべき御言葉に留まり、やがて聖霊の力が着せられ、大いに主の働きをする皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	賛美 10:30	礼拝 11:00
食事/フェローシップ		12:30～
English Service		14:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:30～

金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 15 巻 21 号　　2020 年 5 月 24 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@ yahoo.co.jp

YouTube